

CT装置更新のお知らせ

2022.4月より、あらゆるシーンに応えるオールラウンドCT
【SOMATOM go.Top】を導入致しました

診断精度の高い画像の提供だけでなく、低被ばく、低侵襲での撮影が可能となり
より臨床価値の高い検査を、妥協することなく行うことができます!!

低被ばく

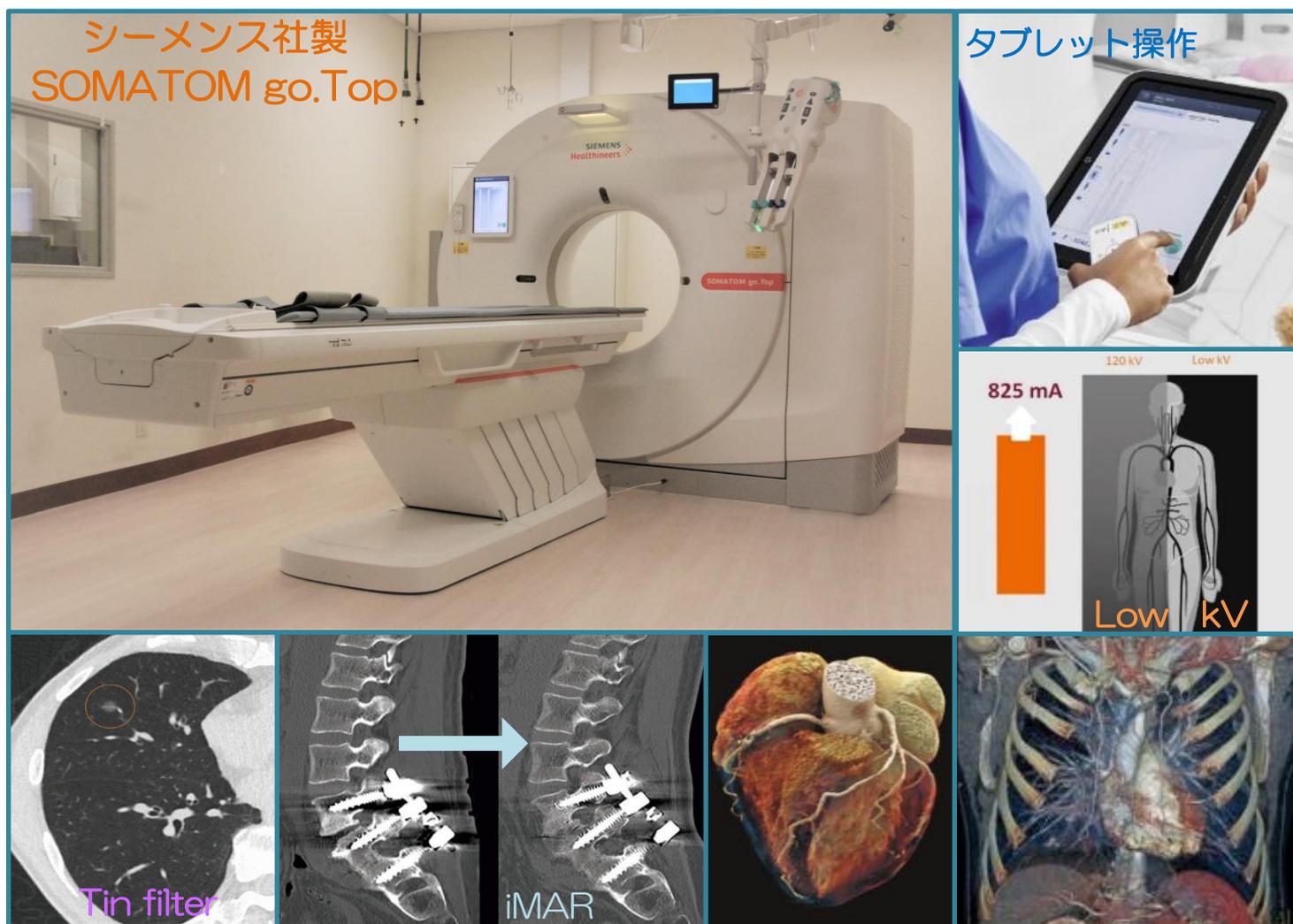
Tin filter technologyによって、胸部レントゲン検査と同等の被ばく線量でCT検査が行えます。特に被ばくの影響を受けやすい若年層の検査に有益です。

低侵襲

Low kV Imagingによって、被検者の体型や検査内容にあわせて被ばくと造影剤使用量を低減することが可能です。腎機能が低下した患者さまでも病変の識別などが期待できます。

高解像度

SAFIRE（逐次近似応用再構成法）により、被ばく線量と造影剤使用量の低減を実現しながら、ノイズの低減とアーチファクトの抑制も可能です。また、**iMAR**（金属アーチファクト低減技術）によって、インプラントの種類や部位に合わせた画像処理パターンが用意されており、領域ごとに最適化したアーチファクトの除去が行えます。



公益社団法人 大阪掖済会病院
大阪市西区本田2-1-10

お問い合わせ

06-6581-2881(代表)